



姉妹都市交流の歴史

(The History of Our Sister City Friendship)

きっかけは、マウント・プレザント市の女子高校生と岡谷市の女子高校生との文通でした。

The exchanging of letters between 2 students mark the beginning of this friendship.

昭和 40 年代（1960 年代）のアメリカでは、アイゼンハワー大統領が、異なる文化を持つ国の人々がお互いに友達になることで戦争をなくそうとする **ピープル・トゥ・ピープル・プログラム** を提唱していました。

（このため、日本の都市とアメリカの都市との姉妹都市提携は、昭和 40 年代前後に集中しています。）

In the 1960s, President Eisenhower of the United States promoted the People to People Program which encouraged international friendship and exchange between everyday citizens of different countries.

マウント・プレザント市では、ピープル・トゥ・ピープル委員会（現マウント・プレザント地域国際交流委員会）が 2 人の女子高校生の文通に着目し、岡谷市との姉妹都市提携を進めました。両市議会の議決を経て、**昭和 40 年(1965 年) 6 月 14 日**、マウント・プレザント市からエミール・フィスター公式使節が岡谷市に来訪し、当時の林浩正市長とともに姉妹都市提携宣言書に調印しました。

Knowing that 2 high school girls living in Mount Pleasant and Okaya were pen-pals at the time, the People to People committee arranged for the 2 cities to become sister cities.

On June 14th in 1965, Emil Fister, the official emissary of Mount Pleasant, and Hiromasa Hayashi, the mayor of Okaya signed a sister city declaration uniting our 2 cities in friendship.



■ 主な交流の経過

1965	エミール・フィスター公式使節・林浩正市長が、姉妹都市提携宣言書に調印
1976	アメリカ建国 200 年祭の岡谷太鼓演奏に合わせて、当時の林泰章市長、小口賢一岡谷商工会議所会頭が訪問
1988	中部ミシガン開発公社理事長 ジョージ・ダン氏が来訪（その後 17 回来岡）
1978	レスリー・コ克蘭博士夫妻が来訪
1986	元マウント・プレザント市助役 ラリー・コリンズ氏夫妻が来訪
1989	第 1 回高校生生活体験 派遣 カノラホールの開館に合わせて、セントラル・ミシガン大学木管五重奏団が来訪
1990	まちづくり北米都市視察団（団長：林泰章市長/28 名）が訪問 セントラル・ミシガン大学生が来訪 理科教職員が相互に交換研修訪問 市内小中学生の絵画等をマウント・プレザント市教育委員会へ送付
1993	岡谷市の高校生が、マウント・プレザント高校へ 1 年間留学
1994	東海第三高校の生徒が、マウント・プレザント高校へ 1 年間留学
1995	■ 提携 30 周年記念 公式訪問団（団長：ドナルド・ソウル市長/10 名）が来訪
1997	大正琴グループが訪問演奏
1998	セントラル・ミシガン大学 メアリー・エレン・ブランデル副学長夫妻らが来訪
1999	カノラ少年少女合唱団（60 名）が訪問公演
2000	■ 提携 35 周年記念 公式訪問団（団長：林新一郎市長/15 名）が訪問
2002	先住民 2 名が来訪、日の出の儀式の他、先住民の歴史・伝統文化・芸術作品等の紹介や市民交流を実施
2005	■ 提携 40 周年記念 公式訪問団（団長：林新一郎市長/4 名）が訪問 公式訪問団（団長：アダム・ミラー市長/11 名）が来訪 ネルソンパーク「岡谷通り」・湖畔公園「フレンドシップ・ゾーン」命名 セントラル・ミシガン大学 マイケル・ラオ学長夫妻が来訪
2012	ブルース・キルマー市長夫婦が来訪
2014	■ 提携 50 周年記念 公式訪問団（団長：今井竜五市長/18 名）が訪問
2015	■ 提携 50 周年記念 公式訪問団（団長：ジム・ホルトン市長/20 名）が来訪



この事業は、宝くじの社会貢献広報事業である「コミュニティ助成事業」の助成を受けています。